

## 第14回 キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰

令和4年1月25日(火)

以下の内容は、

文部科学省 HP「キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」より本校分を抜粋した内容です。

---

<青森県> (種別：学校) 青森県立青森高等学校

---

### 推薦理由

#### 1 推薦校概要

青森県立青森高等学校(以下「当該校」)は、明治33年(1900年)に開校し、今年で創立121年目を迎える伝統校であり、現在は普通科全20学級(1学年6学級、2学年3学年各7学級)の規模を有する。平成26年度から平成30年度までSGH事業、平成29年度からSSH事業に取り組んできた。探究学習の実践において、SGH事業の活動成果とSSH事業を活用した「人材育成カリキュラム研究」を経営方針とし、教育課程において、1学年から「プロジェクト学習」を設定している。1学年の研究課題設定から始まり、2学年で課題研究の実践、3学年で研究の完成に取り組んでおり、その間、企業・研究施設・海外の高校や大学、地域と連携した取組を実践している。また、青森県の医師不足解消を目指した取組等も実践し、地域の課題解決に直結した人材育成を行っている。課題解決能力等を養うことでキャリア形成を図る探究学習と、地域を担う人材育成に向けてキャリアデザイン支援を行う進路指導の2つによってキャリア教育を推進していることから、キャリア教育優良校として推薦するものである。

#### 2 主な取組について

##### (1)教育目標とキャリア教育の推進体制について

綱領である「自立自啓、誠実勤勉、和協責任」のもと、生徒一人一人の個性の伸長を図り、創造的な思考と主体的に行動ができる心身ともに健康な人間を育て、社会の発展に貢献する人材の育成を目指している。青高力(青森高校生徒が身に付ける10の資質・能力として「知力・学力」「課題発見力」「論理的思考力」「課題解決力」「原因分析力」「受信力・発信力」「協働力」「行動力」「自己管理能力」「自己実現力」)を設定し、これまで取り組んできたSGH事業とSSH事業の成果の相乗効果を図りながら、「学際的研究により新しい価値を創出できる国際的な科学技術系人材育成」を主題に据え、探究学習を展開することで青高力育成につなげている。キャリア教育の全体計画の作成及び教育課程の編成は、キャリア教育委員会が中心となり行っている。また、校務分掌においては、「答えのない社会で生き抜く力の養成」を経営方針とする探究学習部を設置している。キャリア教育を総括するキャリア教育委員会、能力養成を目的に探究学習の展開を図る探究学習部、キャリアデザインの支援を行う進路指導部によってキャリア教育を組織的に推進している。

## (2) 企業・研究施設・海外の高校や大学・地域と連携した取組

### 【キャリア形成関連(探究学習関連)】

- ①探究型学習発表会/スライド発表・ポスター発表
- ②探究型学習発表会/パネルディスカッション
- ③バーチャルユースフォーラムコンテスト
- ④STAGE プログラム海外研修
- ⑤学生・生徒による東北町における農業実習及び視察
- ⑥各校との連携による探究型学習ワークショップ

### 【キャリアデザイン支援関連(進路指導関連)】

- ①卒業生による進路ガイダンス
- ②大学ドリーム講座
- ③医学科進学のための特別講座 D's Voice
- ④弘前大学医学部医学科ワークショップ演習
- ⑤グローバル交流事業
- ⑥外国人労働者の受け入れに関する研究会
- ⑦青森中央学院大学留学生との交流会
- ⑧小学生・中学生に対する「夏期学習会」

### 【キャリア形成及びキャリアデザイン支援を支える SSH 関連の取組】

- ①外部講師による SSH 冬季集中講座
- ②SSH 講演会
- ③SSH フィールドワーク生物分野
- ④SSH 科学技術体験セミナー化学分野
- ⑤SSH 科学技術体験セミナー物理分野
- ⑥SSH 企業・研究所体験研修

## 3 まとめ

当校は、青森県立高等学校教育改革推進計画基本方針により、グローバル教育や理数教育等の特定の分野の学習における先進的な取組等、今後求められる人財の育成に向けた特色ある教育活動の中核的役割を担う重点校に指定され、平成30年度から重点校としての活動を行っている。今年度は県内の教員を対象に「重点校事業に係る検証のための研究会」を開催し、自校のキャリア教育の振り返りと取組による効果の検証を行った。この研修を「持続可能な探究型学習カリキュラムの普及活動」と位置付け、キャリア教育及び探究学習の実践について県内の他の高等学校と情報共有を図り、自校にとどまらず県全体の教育レベルの向上に取り組んでいる。令和2年度卒業生の4年制大学進学率は85%(国公立大学進学率は58%)であり、地域、保護者から当校に寄せられる期待は非常に大きい。その期待に応えるべく、単に進学指導に重点を置くのではなく、キャリア形成を図る探究学習をキャリア教育の中心に据え、未来社会を担う人材として必要とされる能力の育成によって進路指導の充実につなげてきた。探究学習と進路支援を一体で行う教育活動により、県内を代表するキャリア教育実践校として好事例を生み出している。